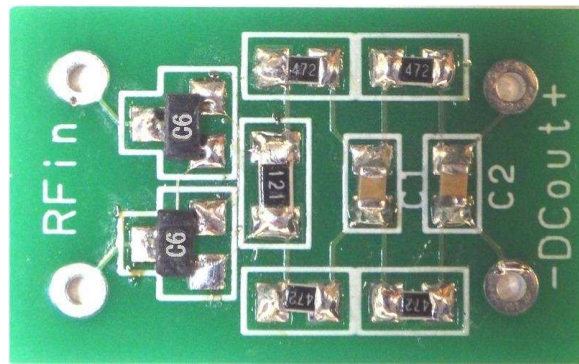


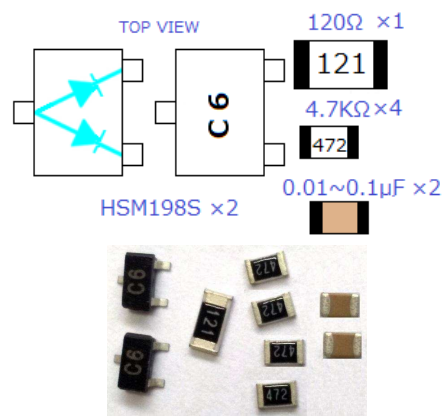
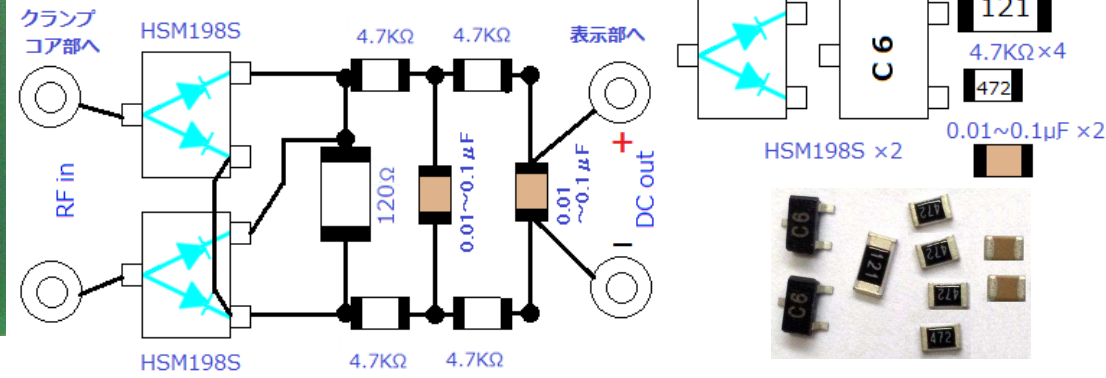
*** JF1DMQ 山村英徳氏設計 プリント基板 チップ部品化 ***
デジタルRF電流計ver.3 製作例

検出部プリント基板に部品をはんだ付けします



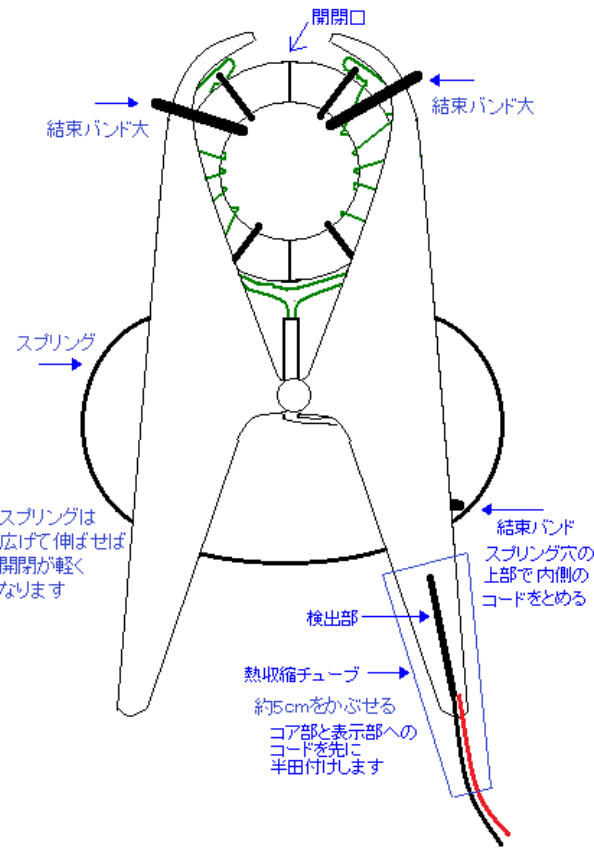
JF1DMQ設計プリント基板

Ver.3 :検波、平滑部、構成図

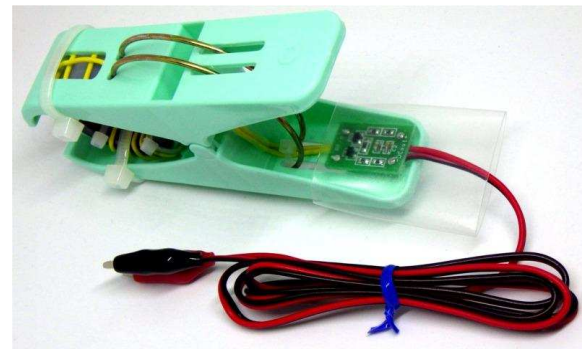


ver.3 の作り方

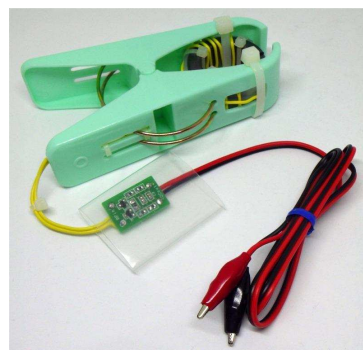
- ①右側の**クランプコアの巻き方例**の通りナイロンクランプコアに10回巻きして電流トランスを作ります 検出部へのコードに、3mmφの収縮チューブを通します
- ②特大洗濯バサミに右図のようにはさんで、開閉口に近い方で結束バンド大で固定します
検出部へのコードは内側のすき間から取手の方に通しておきます
- ③プリント基板で作った検出部にコアからの線と、表示部への赤黒平行線を、それぞれ半田付けします
コアからの線は、検波部製作例の写真のように、スプリングの間を通して検波部基板につなぎ、開閉がスムーズになるよう収めます、スプリング穴の上部でコードを固定します
- ④透明の熱収縮チューブを、赤黒平行線側から通して、取手の内側に収めた検波部基板ごと、かぶせます
(ヒートガンや強力ドライヤーなどの熱風で、収縮固定が出来ます)
- ⑤赤黒平行線の先に、ミノムシクリップを半田付けします



検波部基板を取手に内蔵配置した 製作例



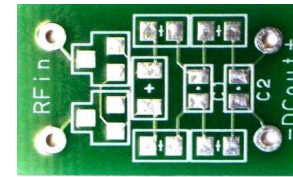
検波部基板をコード中間に配置した 製作例



テスターに接続した例



デジタルRF
電流計
Ver:3

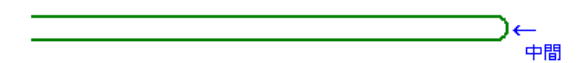


高周波電流 = 1/10 表示電圧
(電流 : 電圧比は1 : 10)
測定周波数範囲 : 1.8~5.4 MHz
測定電流範囲 : 1.0 mA~300mA
測定誤差 : ±20%程

..... クランプコアの巻き方例

クランプコアにビニール被膜線を10回巻きします (コア内通過数) (ナイロンクランプの上に巻きます) 巻き方の例を紹介いたします 参考になれば幸いです

ビニール皮膜線は、半分に折り曲げて、中間にしるしをしておきます



<p>①クランプコアに結束バンドを4本仮止めします</p>	<p>②ビニール皮膜線の中間を図のようにコアの下側に合わせ、結束バンドに通して、半分のコアに5回巻きます (コア内通過数)</p>	<p>③残り半分のコアにも5回巻きます 図のように、巻き方向は同じにします 合計10回巻きとなります (コア内通過数) なるべく等間隔に巻きます</p>
<p>④ビニール皮膜線の端は、巻き線の外側 (上側) を折り返し、図の下側の結束バンドに通します 両端とも同じようにします</p>	<p>⑤完成例-1</p>	<p>⑥完成例-2</p> <p>巻き線の内側を折り返した例です</p>
	<p>電流トランスの製作例 ナイロンクランプの上から10回巻、開閉口のナイロンの突起部分はカットしました</p>	